

2019年11月7日

各位

会社名 株式会社東京放送ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐々木 卓
(コード:9401 東証第1部)
問合せ先 グループデザイン局長 玄馬 康志
(TEL. 03-3746-1111)

子会社再編による新会社設立に関するお知らせ

本日開催の当社取締役会において、下記のとおり、グループ再編にあたり、新会社の設立を決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 内容

「グループ中期経営計画 2020」で掲げておりますとおり、「グループの構造を見直し、グループの力を結集」するため、本年1月1日、「株式会社TBSスパークル」が主に番組制作を担う11社を吸収合併し、また本年4月1日には「株式会社TBSグロウディア」が興行・催事、コンテンツ販売、TVショッピング等を担当する7社を吸収合併し、それぞれ本格的に稼働いたしました。

この2社に続き、放送設備をはじめ、より多くの経営資源の投下が必要となる技術関連及び美術・CG関連の業務を担う部門の再編を目指し、新会社を設立することいたしました。

2. グループ再編の基本理念

厳しさを増す外部環境を乗り越えて、当社グループが業界トップの座を獲得する基盤の構築を再編の理念としております。そのために、今回はグループ各社に分散しております、いわゆる技術関連及び美術・CG関連の機能を複合的に集約することで、当社グループの生命線であるコンテンツ力の強化を目指します。加えまして、このグループ再編により、

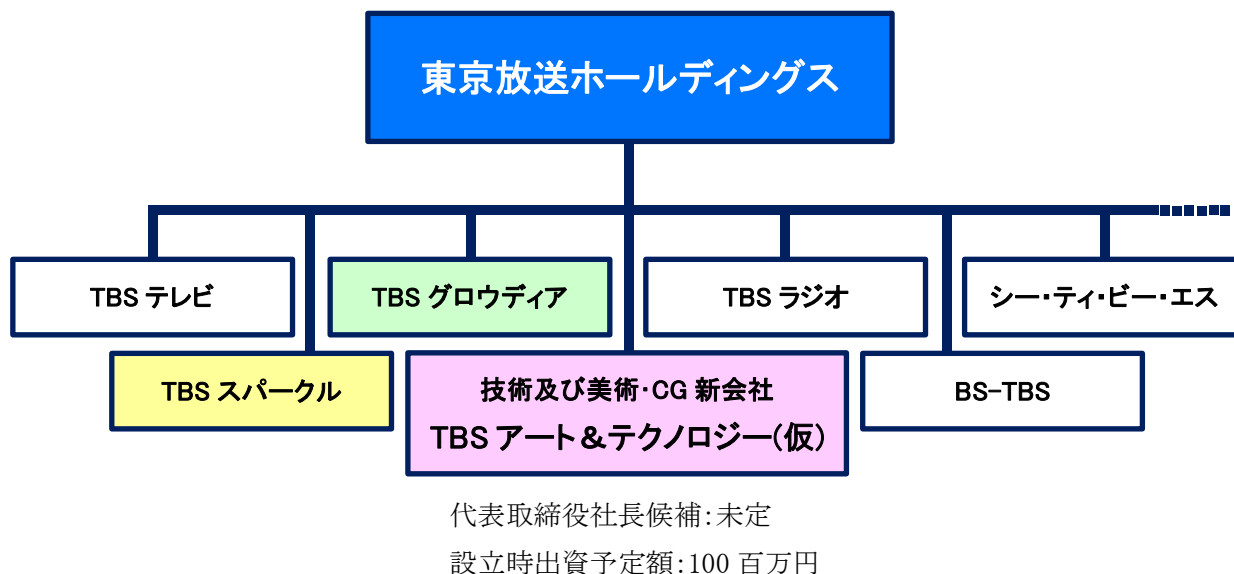
- 多重構造の解消によるグループ一体感の醸成
- 「働き方改革」の推進をはじめ、ワークライフバランスの充実
- 専門性と流動性の両立による従業員のキャリアパスの多様化
- ブランド力アップによるリクルーティング競争力の向上
- グループ内協業体制の明確化による経営効率の改善
- グループ全体のコンプライアンスの強化及びガバナンスの徹底
- 既存領域に囚われない新たな挑戦をするための体制作り

以上を、推し進めてまいります。

3. 具体的なグループ再編の方法

2020年春、下図のように、当社の完全子会社として、技術部門及び美術・CG部門の業務を担う新会社を設立する予定です。その後、現在、グループ内で技術及び美術・CGの業務を担当している、いくつかの既存子会社を集約すべく、新会社が吸収合併する形で進めます。

なお、今回の技術部門及び美術・CG部門におけるグループ再編の対象会社は、下図に記されている基幹子会社を除いたグループ会社の内、新会社と合併することで、より高いシナジーを生み出すことができるか否かを観点に検討してまいります。確定次第、別途開示いたします。



4. 新会社の業務内容(予定)

- ◎ 番組制作、コンテンツ制作等における技術及び美術・CG関連を担うプロダクション部門の業務
 - ◎ 放送実施、コンテンツ配信等に従事するステーション部門の技術業務
 - ◎ その他、上記と親和性が高い業務
- ※ 詳しい業務内容はじめ、新会社の経営体制、本店所在地や従業員数等、新会社の概要について、今後、確定次第、別途開示いたします。

5. 新会社への合併日及び新会社の事業開始日

現在、上記のスケジュールは未定であり、確定次第、別途開示いたします。

6. 今後の業績に与える影響見通し

連結子会社を中心とした一部の子会社の再編であるため、業績及び財務状況の規模から、本件に伴う当社の連結の業績に与える影響は軽微であります。

以上

(ご参考)

【当事会社の概要】(2019年3月31日現在)

商号	株式会社東京放送ホールディングス
事業内容	放送事業、映像・文化事業、不動産事業
設立年月	1951年5月
本店所在地	東京都港区赤坂五丁目3番6号
代表者	代表取締役社長 佐々木 卓
売上高	17,962 百万円
経常利益	20,621 百万円
当期純利益	25,191 百万円
資本金	54,986 百万円
純資産額	421,431 百万円
総資産額	629,527 百万円
従業員数	93 人

※ 「事業内容」については、2019年5月14日の取締役会にて、セグメント区分を変更することを決議しました。
当事会社の「事業内容」は、新たに「メディア・コンテンツ事業」、「不動産・その他事業」となりました。